

## 第2学年 国語科「楽しかったよ、二年生」

2組 授業者：大友 あすか

### 1 単元の見目標

#### (1) 知識及び技能

姿勢や口形、発声や発音に注意して話することができる。

丁寧な言葉と普通言葉との違いに気を付けて使うことができる。

#### (2) 思考力、判断力、表現力等

相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えることができる。

伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。

#### (3) 学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさを感じるとともに行動したことや経験したことに基いて話す事柄の順序を粘り強く考え、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

### 2 指導計画

時	学習活動
1	○2年生の4月から1月までの出来事を振り返る。 ○単元のめあてを設定し、学習計画を立てる。
2	○1年間の行事、学習、遊びなどを振り返り、特に思い出に残っていることを一つ選ぶ。
3	○詳しく思い出し、自分が話したいことを一つ一つ付箋に書き出す。
4	○自分で考えたり、友達と伝え合ったりすることで、自分が書いた付箋を見直す。
5	○発表の文章を、どのように組み立てるとよいかを考える。 ○書き出した付箋をもとに、発表の文章の組み立てを考え、発表原稿を作る。
6	○発表の練習をする。
7	○グループで発表会をし、感想を伝え合う。
8	○学習を振り返る。

### 3 本時の展開

#### (1) 本時の目標

自分で考えたり、友達と伝え合ったりすることで、自分が書いた付箋を見直すことができる。

#### 学習のねらいを達成するための有効な選択肢

学習形態に選択肢を与えることで、考えを深めたり広げたりしながら、課題解決することをねらう。

#### 教師の具体的な支援

話が詳しくなったり膨らんだりしたことを称賛することで、自分や友達との関わりを通して見直しをしてよかったと思うようにすることをねらう。

#### 一人一台端末の効果的な活用

観点別に色分けした付箋を使うことで、自分にも相手にも分かりやすくすることをねらう。

見どころ！！

#### (2) 本時の「選択」場面



(3) 本時の流れ

学習活動	☆指導上の留意点 ◇評価【観点：方法】
○本時のめあてについて知る	
めあて 自分で考えたり、友達と話したりして「思い出ふせん」を見直そう。	
○授業の流れを確認する。	
○本時の自分が選んだ「がんばること」をFigJamで確認する。	☆「がんばること」は前時に4つの中から選ばせる ・友達にアドバイスをする・友達に質問する ・分かりにくいところをなくす・付箋を詳しくする
○「思い出ふせん」に書いた内容を見直す。 ・前時で書いた付箋を見る。 ・したことや思ったこと、会話を選んだり、付け足したりする。 ・資料を活用する。	<div data-bbox="751 689 1437 909"> <p><b>一人1台端末の効果的な活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FigJamで単元ノートを作成し、自分で見直したり、友達と関わったりする中で、増やしたり詳しくしたりする。</li> <li>・誰が何を選んでいるのか、児童がいつでも見ることができる。</li> </ul> </div> <div data-bbox="751 987 1414 1122"> <p><b>選択：学習形態</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自分で</li> <li>②友達と</li> </ol> </div> <div data-bbox="751 1189 1414 1341"> <p><b>選択：道具</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書の例文</li> <li>②質問のポイント</li> <li>③友達からのアドバイス</li> </ol> </div> <p>◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄を考えている。  <b>【思考・判断・表現：行動、発言、FigJam】</b></p>
○学習を振り返る。	<div data-bbox="751 1563 1414 1760"> <p><b>教師の具体的な支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に声をかける</li> <li>・付箋が詳しくなっている児童の価値付けをする。</li> <li>・全体への共有</li> </ul> </div> <p>☆FigJamに振り返りを記入する。</p>